

山口・公州ジュニア交流隊

●「山口・公州ジュニア交流隊」とは？

姉妹都市の韓国公州市と山口市の中学生の交流を通じて日韓の友好を深めることを目的としています。

●交流のきっかけは？

1993年に市が韓国公州市と姉妹都市を締結した2年後、山口JCと公州JCが姉妹JCとして縁組を結び、市の委託を受けて「山口・公州ジュニア交流隊」事業が始まりました。

●どんな交流を行っていますか？

両市の中学生が毎年交互に訪問し合い、ホームステイや文化体験などを通して国際理解を深め、友情を育みます。

昨年は山口市の中学生が公州市を訪問し、韓国文化を学びました。新しい取り組みとして、公州通信の作成を行い、年4回の発行で、お互いの情報を記事に載せ交流をはかりました。また、この年に初めてJr交流隊の卒業生をスタッフとして参加させました。公州では歴史博物館、凧作り、チェギチャギ遊びなどの体験を通して、韓国文化を学びました。

17回目となる今年は、8月5日（金）～8日（月）に公州市の訪問団を山口市に迎えます。

●今年はどうな交流を？

2泊3日のホームステイとスポーツ交流や野外炊飯を行います。山口市の中学生は本番までに3回の事前研修で、韓国の言葉や文化を学んだり、公州市から来る友達をもてなそうと一生懸命に準備をします。また、山口市の夏を彩る、日本三大火祭りの一つとされる「山口七夕ちょうちんまつり」に参加し、公州市の友達に山口の地域伝統行事を知ってもらい、また文化に触れてもらうことによって、一生の思い出となる時間を過ごします。

●交流の醍醐味は？

16年続いた交流の積み重ねで、両JCおよびスタッフの絆は互いを名前で呼び合い、再会を待ち望むほど深まっています。交流は3泊4日の短い時間ですが、言葉の壁を越えて友情を育み、別れ際に大泣きを

する子どもたちを見ると、「交流で生まれた感動が将来役に立ってほしい」と心から願います。

●今後の抱負は？

今後も市内で活躍する団体と連携しながら、本事業の成果を拡げていき、参加してくれた中学生だけでなくこの事業をとりまくすべての人たちが成長できることを願っています。8月5日から4日間、山口市と公州市の明るい未来を担う中学生たちが市内で交流を繰り広げます。見掛けたらぜひ、温かい声を掛けてあげてください。

参考資料：山口市HPまちづくり人（一部抜粋）